

水問題に関する協議会・第15回幹事会の概要

水問題に関する協議会・第15回幹事会の会議結果は、次のとおりです。

1 日時 平成31年2月8日（金）午後2時から午後3時50分

2 場所 愛媛県水産会館 6階 大会議室

3 会議の概要

西条市から、西条市民の意見集約、西条市地下水保全協議会の開催状況、県提案への回答に係る検討状況等についての報告、松山市から、水問題の解決に向けての取組状況についての報告、愛媛県から、西条と松山の水問題に対する6つの提案についての説明があり、意見交換を行いました。

【西条市の説明】

○市民に向けた説明会等の開催状況

○市民説明会等での主な意見・要望等

- ・将来的な黒瀬ダムの貯水量を懸念（堆砂の増、気候変動 等）
- ・県は河川管理者として、加茂川の良い流況確保に十分配慮してほしい。
- ・西条発展のためダム建設の犠牲になった黒瀬住民の思いを考慮すべき。
- ・分水反対を明確に示すべき 等

○今後の予定

- ・3月3日の第3回西条市地下水保全協議会で意見取りまとめを行い、議会の了解を得た上で、3月末までに県提案への回答を行う。
- ・地下水の保全について、市民や関係団体等への説明や意見交換を継続するとともに、3月3日に「地下水シンポジウム」を開催する。

【松山市の説明】

○水問題の解決に向けたこれまでの取組み状況や、今後取り組んでいく内容

【愛媛県の説明】

○県の6つの提案の真意や詳細な意図等

【主な意見交換の内容】

①県提案の西条市民への理解度について

（愛媛県）県提案の真意がまだ伝わっていないと感じるが、西条市民に県提案はどのように理解されていると考えるか。

(西条市) 市民からは、松山市の水問題と西条市の水問題は別の問題であり、一緒に議論すべきものではない、また、ダム上流域での水源涵養については、あくまで流域内で検討すべきこと、との認識であった。

②地下水シンポジウムについて

(新居浜市) 3月3日の地下水シンポジウムは、どのような規模、内容、参加者で開催するのか。また、同日に第3回目の地下水保全協議会も開催され意見の取りまとめが行われると聞いているが、シンポジウムの内容は地下水保全協議会での議論内容とどのように関係するのか。

(西条市) 地下水シンポジウムは、限りある資源である地下水の保全意識の高揚を図ることを目的に、200人から300人規模で開催する予定である。

内容は、西条市地下水保全管理計画の策定に携わった学識経験者による専門的な観点からの講演やパネルディスカッションを行う。

西条市地下水保全協議会においては、今後、西条市地下水保全管理計画に基づき、本格的に地下水のあるべき姿や、地域で守るべきルールづくりなどについて協議を行っていくこととしており、シンポジウムの内容は、今後の取組みの内容に関するものである。

③西条市地下水保全協議会での意見取りまとめの方向とスケジュールについて

(愛媛県) どのような方向性で意見の取りまとめが行われると考えるか。また、取りまとめ後のスケジュール感はどうか。

(西条市) 方向性についての回答は差し控えたい。スケジュールは、市長が取りまとめた意見を受けた後、市議会の意見も踏まえ、本年度内に県に回答する予定である。

④松山市の具体的な取組みについて

(愛媛県) 西条市に対して「できる限り協力させていただきたい。」とのことだが、具体的にどのようなことを考えているのか。

(松山市) 経済的、人的、その他の面で、できることはできる限り協力させていただきたい。

(愛媛県) 渇水時や通常時の取水規制等のルール案の提示など、西条市の不安を払拭するため具体的な対応の提示は考えていないのか。

(松山市) 既に回答しているとおり、地元優先は当然。1日4万 m^3 はあくまで最大水量で、県工水のように常に一定量を取るものなどとは性格が異なる。具体的な水量設定等については、河川管理者の県のご指導の下、西条市のご意見を伺いながら検討したい。

【会議の結果】

次回幹事会においては、西条市から、県の提案への回答の内容や、それに沿った西条市地下水保全協議会や市議会における議論の経過等の報告を受けることとした。